

全北大学：科学文明学研究所  
アジア共同体における文明と科学  
実施期間：2016年9月~12月

- 第1回 「科学、技術、文明とアジア共同体」  
(9月07日) 文晩龍 (全北大学科学文明学研究所、副所長、助教授)
- 第2回 「いま何故アジア共同体が必要か」  
(9月21日) 鄭俊坤 (ワンアジア財団、首席研究員)
- 第3回 「韓国の科学とアジア共同体の文明を理解する」  
(9月28日) 申東源 (全北大学科学文明学研究所、所長、教授)
- 第4回 「開発途上諸国のモデルとしてのアジアの科学技術」  
(10月05日) 金根培 (全北大学韓国科学史、教授)
- 第5回 「地球についてのアジア人の伝統的理解」  
(10月12日) 林宗台 (ソウル大学韓国科学史、助教授)
- 第6回 「グローバルな展望に拠るアジア共同体の科学と文明」  
(10月19日) クリストファー・カレン (ケンブリッジ大学、名誉教授)
- 第7回 「吉野桜の起源論争：生物学と東アジア史」  
(10月26日) 文晩龍 (全北大学科学文明学研究所、副所長、助教授)
- 第8回 「アジア共同体における翻訳と近代化」  
(11月02日) 李東哲 (龍仁大学、中国哲学、助教授)
- 第9回 「アジア共同体における印刷・出版文化」  
(11月09日) 吳英均 (アリゾナ州立大学中国語、准教授)
- 第10回 「アジア共同体における農業の伝統と変化」  
(11月16日) 王思明 (南京農業大学)
- 第11回 「アジア人の体と西欧人の体」  
(11月23日) 全鍾項 (全北大学)
- 第12回 「アジア共同体の環境とエネルギー問題」  
(11月30日) 金明子 (前環境大臣)
- 第13回 「アジアの世紀におけるアジア共同体の科学と文明」  
(12月07日) 金基協 (歴史家)
- 第14回 「最終講義—世界はやがて一つになる」  
(12月14日) 佐藤洋治 (ワンアジア財団、理事長)

※講義日程および内容は講師の都合等により変更になることがあります。